

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-5-2
人材の育成・定着

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

雇用政策課長 川本 ゆかり

電話番号

0852-22-5296

事務事業の名称	技能評価・向上事業	
目的	(1) 対象	技能者、大工等の職人に興味を持つ県内外の若年者、中学生
	(2) 意図	技能士の技能レベルの向上、技能分野の後継者の確保
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 技能レベルを評価する技能検定の実施 技能競技大会参加への支援 技能者の地位の向上と県民の技能に対する関心を高めることを目的とした、優秀な技能者の表彰や認定の実施 中学生にものづくりへの関心を高めてもらうための、ものづくり体験教室の実施 島根に残すべき職人技の後継者を確保するため、職人の仕事を体験（3ヶ月以上1年以内）する経費を助成 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位		
1	指標名	技能検定合格者数	目標値	750.0	750.0	750.0	750.0	人		
	式・定義	技能検定（特級+1級+単一等級+2級+3級）合格者数	取組目標値							
				実績値	686.0	684.0	654.0			
				達成率	91.5	91.2	87.2	-	-	%
2	指標名	中学生ものづくり体験教室参加生徒数	目標値		1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	人	
	式・定義	中学生ものづくり体験教室参加生徒数	取組目標値							
				実績値	1,001.0	935.0	836.0			
				達成率	-	93.5	83.6	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	36,320	53,615
うち一般財源 (千円)	22,228	31,999

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 技能検定受検申請数 H27 1,217人 H28 1,300人 H29 1,207人 職人数（国勢調査結果（推計値）） <table border="1"> <tr> <td><大工人数></td> <td><屋根ふき職人></td> <td><左官></td> <td><畳職人></td> </tr> <tr> <td><H22> 3,770人</td> <td>170人</td> <td>1,520人</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td><H27> 2,850人</td> <td>80人</td> <td>1,360人</td> <td>90人</td> </tr> </table> 島根県中小企業労働事情実態調査結果報告書（島根県中小企業団体中央会） 県内の600事業に対するアンケート結果 経営上の隘路として最も課題と認識しているもの 「人材の質の不足」 製造業 41.7% 	<大工人数>	<屋根ふき職人>	<左官>	<畳職人>	<H22> 3,770人	170人	1,520人	140人	<H27> 2,850人	80人	1,360人	90人
<大工人数>	<屋根ふき職人>	<左官>	<畳職人>									
<H22> 3,770人	170人	1,520人	140人									
<H27> 2,850人	80人	1,360人	90人									

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 技能検定3級受検者数が増加（ ）内は合格者 H28 237人 ⇒ H29 275人 (185人) (204人) 中学生ものづくり体験事業に参加した中学生が体験した職種に興味を持つなど満足度が高かった。（感想文）
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりを担う人材の不足（量と質） 技能検定受検者数の減少
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者に対しものづくりの魅力を伝えていない。 技能者のレベルを客観的に評価する技能検定を受検するメリットを教師、学生、在職者、企業経営者に伝えていない 島根の職人を育成するための体験費助成制度の対象職種が限定的で人数が少人数 様々な分野における安価な規格品等の普及により職人の仕事が減少している。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 若年の段階からものづくりの魅力を伝える 専門高校の生徒、教師、企業の人事担当者などに技能検定の受検メリットを良く知ってもらうこと 職人の技を必要とする仕事を増加させる施策の展開 体験費助成制度の対象職種・人数の拡大

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 島根県技能士会連合会と連携し、ものづくりの魅力発信を若年層を対象に行う。 島根県の職業能力開発協会、島根県技能士会連合会等と連携し、技能検定のメリットやH29後期試験から拡充している受検料減免制度について周知を図り、高校（生徒、教師）、職業能力開発施設、企業等における、技能検定3級の受検を促進する。 島根県技能士会連合会と連携した技能者のレベルアップなどの取組を実施する。 職人の仕事を増やすための取り組みを検討する。
